

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 13 日


事務事業名		環境基本計画推進事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	041102000232
総合計画の施策名		0411 生活環境の保全				単独/補助	単独	所属課	030301
政策名		04 快適で潤いのある生活環境づくり				主要事業	対象	環境対策課	
施策名		11 生活環境の保全				市長マニフェスト			
基本事業名		02 環境保全活動の推進				未来PJ事業	グループ	環境公害対策G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	01	03	02	00	環境衛生事業		
法令根拠		桜川市環境基本条例							
【Do】		1. 事務事業の現状把握(その1)							

手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>恵まれた自然環境を有効に活用しつつ保全し、将来に渡って維持し向上させるため、計画に基づき事業の計画及び実施を総合的かつ計画的に推進することで、市・市民・事業者の働きかけと協力により、市民の現在及び将来にわたり恵み豊かな環境と、健康で安全な生活を確保する。</p>		<p>計画の実践。推進委員会の開催。 各部署における実践計画を把握し、実績を踏まえ次年度実践計画に反映させる。</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
環境審議会委員の委嘱。 計画の見直し。		推進委員数		人	25.00	15.00	15.00	15.00	15.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
市・市民・事業者		市民		人	43,190.00	42,444.00	42,028.00	41,652.00	41,256.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
積極的な環境保全活動意識の向上		自然環境を守る行動を行った市民の割合		%	69.00	72.70	73.00	74.00	75.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移				26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	75	33	850	45	45	0
	事業費計(A)	千円	75	33	850	45	45	0		
人件費	正規職員従事人数		人	3.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間		時間	12.00	176.00	30.00	30.00	30.00		
	人件費計(B)		千円	35	511	87	87	87		
トータルコスト(A)+(B)			千円	110	544	937	132	132		

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)				28年度事業費 予算(千円)				
	01 報酬	33			01 報酬	45			
					13 委託料	805			
合計				33	合計				850

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容		29年度の事業内容		30年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する		自然環境保全事業 生活環境によるECO事業 地球環境負荷軽減事業 環境教育事業		自然環境保全事業 生活環境によるECO事業 地球環境負荷軽減事業 環境教育事業		自然環境保全事業 生活環境によるECO事業 地球環境負荷軽減事業 環境教育事業	
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業							

事務事業名	環境基本計画推進事業	事務事業No.	41102000232	所属課	環境対策課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 平成18年度に桜川市環境基本条例が策定され、「桜川市の環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画を定める」に基づき、平成21年度に桜川市環境基本計画が策定された。
 策定された基本計画に基づき、平成22年度から市内継続的な環境保全の推進を図る。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	桜川市の環境の保全に関する計画的な推進を図るものである。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市・市民・事業者が一体となり、積極的な環境保全活動の意識向上を図る施策を実施するため。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現在は、これまでの流れを汲んだ業務が遂行されているので、計画に沿った業務を遂行する必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市内の環境を維持向上が困難になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	業務に必要な事業費である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民の環境保全活動意識向上を図るもので公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	環境基本計画の内容について、見直しが必要と思われる。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 平成22年度の計画であるので、内容の見直しと計画内容の理解が必要。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果	③																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>